

第643回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 東海環状自動車道 大安 I C建設事業

- 東海環状自動車道は、我が国の重要幹線道路である東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道及び東名阪自動車道を相互に連絡しながら環状を形成する名古屋都市圏の骨格道路。
- 大安 I C（仮称）では、平成30年度の供用に向け、盛土工や橋梁工事を施工中。
- 盛土工（ICT活用）では、マシンガイダンスを搭載したブルドーザ、バックホウ等を用いて施工することにより、建設現場での生産性向上に取り組んでいる。
- I Cに接続する高架橋は、工場製作の主桁を連結後、その上に工場製作のP C板を設置し、現場打ちコンクリートを打設するP Cコンポ橋を採用。品質が良く、施工期間の短縮、安全、建設コストが安くなるなどの特徴がある。

…………… いなべ市大安町



2. 新名神高速道路 ^{こもの}菰野第一高架橋

- 新名神高速道路は、伊勢湾岸自動車道、新東名高速道路などと一体となり、近畿圏や中部圏、首都圏の3大主要都市圏を結ぶ新たな大動脈として日本経済を支える道路。
- 新四日市 J C T～亀山西 J C T（仮称）間について、平成30年度の供用を目指して整備が進められている。
- 菰野第一高架橋は、三重郡菰野町に建設される菰野 I C（仮称）に隣接し、普通河川鳥居戸川を渡河する9径間連続P C箱桁橋 L=483.5m（下り8径間連続P C箱桁橋 L=483.5m）を採用。
- 観光地である湯の山温泉への入り口に位置することなどから、景観検討を実施。橋脚及び上部工は、菰野という地名の語源ともなり地域に生息するマコモ（イネ科の植物）をモチーフとした形状を採用。
- 4車線として整備しているが、将来6車線への拡幅も考慮した設計となっている。

…………… 三重郡菰野町



3. 志登茂川浄化センター

- 志登茂川浄化センターは、県都津市の中心街を含む津市北部地域の生活排水を処理。
- 平成30年4月1日に供用された最新の浄化センターで、省エネルギーの機器を導入し、維持管理費を低減。
- 閉鎖性水域である伊勢湾の富栄養化など水質汚濁を防ぐため、高度処理方式（凝集剤添加型ステップ流入式硝化脱窒法と急速ろ過法を併用）を採用。
- 工事計画区域が絶滅危惧種の昆虫「カワラハンミョウ」の生息地であることから、有識者と協議しながら自然環境に配慮した施設を設計。
- 管理棟等は耐震性・耐津波性を有しており、津市の津波避難ビルにも指定。

…………… 津市白塚町

